

令和4年1-3月期中小企業（製造業）

景況動向調査結果

令和4年4月15日
群馬県中小企業団体中央会

調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和4年3月10日～令和4年3月31日
3. 調査方法 郵送調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）で、本会会員組合所属の500社
5. 回答状況 調査対象500社のうち回答を得られたのは247社で、全体の回収率は49.4%となった。回答企業の平均従業員数は52.3人であった。

業 種	項 目	調査数	回 答		平 均 従業員数
			数	率	
食 料 品 製 造 業		95社	42社	44.2%	49.0人
織 維 ・ 同 製 品 製 造 業		59	33	55.9	18.0
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業		30	15	50.0	23.9
紙 加 工 品 製 造 業		32	13	40.6	24.2
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業		61	42	68.9	42.0
金 属 ・ 機 械 ・ プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業		223	102	45.7	77.0
計		500	247	49.4	52.3

6. 要旨











「業況大幅悪化、価格転嫁も難しく閉塞感続く」

売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和3年1-3月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲29.1となり、前回調査(令和3年10-12月期)の▲9.0から20.1ポイント下降している。来期見通しにおいては、15.9ポイント上昇し、▲13.2となる見通しになっている。

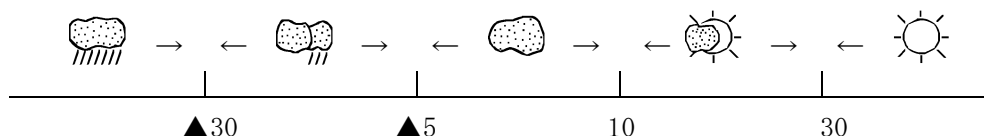
また資金繰りについて、好転したとする企業が減少し、悪化したとする企業が増加している。

全体の天気図は、「小雨」となった。来期見通しにおいても「小雨」の状態が継続する見通しとなっている。

【図表1】

	2年				3年				4年	来期見通
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	
全体	 ▲38.5	 ▲70.4	 ▲62.9	 ▲50.1	 ▲36.7	 ▲6.4	 ▲11.0	 ▲9.0	 ▲29.1	 ▲13.2

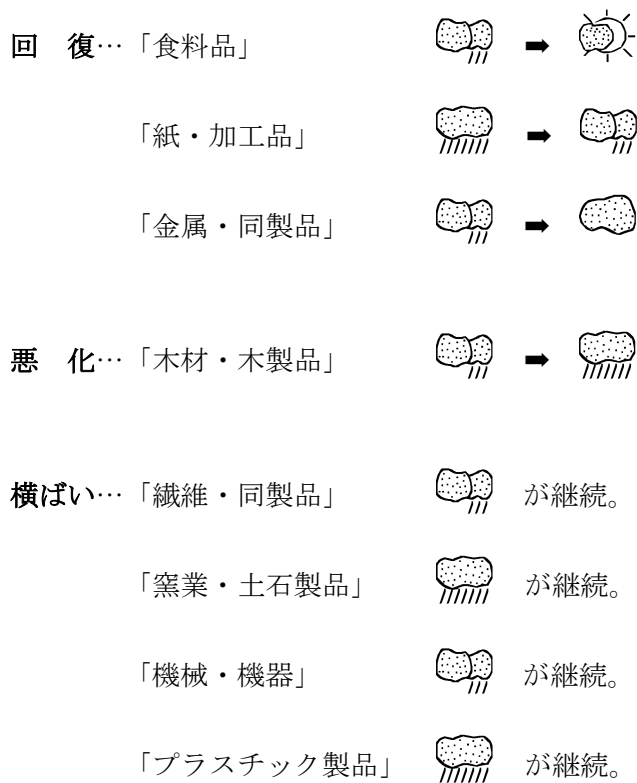
※景況天気図は「売上高」「収益性」(同期比)のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



業種別にみると、回復0業種、悪化4業種、横ばい4業種となっている。

悪化…「木材・木製品」	 → 
「紙・加工品」	 → 
「金属・同製品」	 → 
「機械・機器」	 → 
横ばい…「食料品」	 が継続。
「繊維・同製品」	 が継続。
「窯業・土石製品」	 が継続。
「プラスチック製品」	 が継続。

来期見通しにおいては、回復3業種、悪化1業種、横ばい4業種となっている。



【図表2】

